

平成 2 7 年度

事業報告書

社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

事業報告

I 総括

平成27年度、京都府内では大きな災害に見舞われることはなかったものの、5月には鹿児島県くちの口永良部島えらぶじまでの新岳噴火、また9月には関東・東北での豪雨災害など、自然災害によって尊い命や財産が奪われ毎年のように住民の生活が脅かされています。

被災された方々への支援には全国から駆け付けた多くのボランティアが力を発揮し、避難所での炊き出しや家屋の掃除など「一日でも早く元の生活を取り戻していただきたい」「何かお手伝いしたい」という思いが、人の心を動かし行動として表れております。

しかし一方では、孤独死や孤立、引きこもり、高齢者や児童をはじめとした虐待事件、自殺問題など“絆・つながり”があれば防げたのではないかと思われる事件・事故が後を絶たない現実も痛感させられました。

京丹波町社会福祉協議会では地域の“絆・つながり”を再構築するために住民のご理解ご協力のもと、ふれあいいいききサロン活動の推進に取り組んだほか、町内の商店や事業所に呼びかけ、京都府が推進する「京都高齢者あんしんサポート企業養成研修」を実施し、56店舗に受講いただき、その取り組みを進めたことで、町内の多くの方々に地域での見守り・声かけ活動を広めることができました。

また、住民が主体となって取り組まれる活動に対して、赤い羽根共同募金を活用し活動助成金として申請された団体に配分したほか、売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される「募金機能付き自動販売機」を町内3カ所に設置するなど、募金の使途の明確化や新しい募金の方法を導入することで毎年減少傾向にあった募金額が前年度を上回ることができました。

なおまた、毎日給食や外出支援事業をはじめとする「高齢者支援事業」「地域自立支援事業」「障害者共同作業所運営事業」「ファミリー・サポート・センター」「福祉教育・体験学習」など、高齢者・障害者・児童とあらゆる分野における支援事業を町行政のご支援の中で（委託事業として）展開しております。さらには、介護保険事業等を中心とした在宅福祉活動の提供を行い、安心のまちづくりに向けた様々な事業を展開し、以下のとおり平成27年度の事業を項目別に報告します。

II 社会福祉協議会運営基盤の強化

1 会員増強運動・・・7月・8月に区長会の協力を得て実施

会費種別	合計	備考
一般会費	5, 109, 000	成人者：1,000円
特別会員	215, 000	会社、事業所：5,000円
賛助会員	51, 000	福祉施設、団体、機関等：3,000円
合計	5, 375, 000	

2 法人運営

●会 務

(1) 理事会の開催・・・6回

開 催 月 日	協 議 内 容
平成27年 4月13日	人事異動について、訂正事項について
平成27年 5月22日	26年度事業報告・収支決算、任期満了に伴う評議員の同意、他
平成27年 6月22日	役員任期満了による正副会長の選任、他
平成27年 8月27日	社協理事の委員会等委員割り当てについて、社協事業所視察、他
平成27年11月30日	27年度上半期事業・収支予算執行状況について、他
平成28年 1月26日	事務局規程等の承認について、他

(2) 監査会の開催・・・2回

開 催 月 日	協 議 内 容
平成27年 5月19日	26年度事業及び収支決算についての監査
平成27年11月19日	27年度上半期事業及び収支予算執行状況の監査（中間監査）

(3) 評議員会の開催・・・2回

開 催 月 日	協 議 内 容
平成27年 5月28日	26年度事業及び収支決算、任期満了に伴う理事の承認、他
平成27年 3月30日	26年度資金収支補正予算（案）の承認について、27年度事業計画（案）の承認について、27年度資金収支予算（案）の承認について、役員報酬について、定款の変更について 他

(4) 三役・支所長会の開催・・・12回

開 催 月 日	協 議 内 容
平成27年 4月 8日	26年度事業報告・収支決算について、評議員定数変更に伴う承認について、介護職員処遇改善事業の運用について、他
平成27年 5月 7日	京丹波町等関係機関・組織の役職分担について、介護職員処遇改善事業の取り組み、社協のあり方「答申」組織改編について、他
平成27年 5月15日	26年度事業報告・収支決算について、社協のあり方「答申」組織改編について、他
平成27年 7月 6日	27年度一般会費の納入について、職員募集について、理事会について、社協あり方「答申」組織改編について、他
平成27年 8月 7日	第4回福祉まつり開催について、社協役員の割り当てについて、CATVによる社協会員の募集について、登録ヘルパー募集について、社協あり方「答申」組織改編について、地域福祉計画策定に向けて、他
平成27年 9月11日	登録ヘルパー活動について、社協あり方「答申」組織改編について、他

平成27年10月19日	共同募金じぶんの町をよくするしくみについて、27年度上半期事業及び予算執行状況監査について、他
平成27年11月16日	27年度上半期事業及び予算執行状況監査について、他
平成27年12月14日	28年度予算要望について、第6回理事会について、他
平成28年 1月15日	28年度予算要望について、社協のあり方「答申」組織改編について、他
平成28年 2月16日	28年度事業計画・資金収支予算の作成について、社協のあり方「答申」組織改編について、他
平成28年 3月11日	28年度事業計画（案）・資金収支予算（案）について、府指導監査の報告について、社協のあり方「答申」組織改編について、他

(5) 各種運営委員会の開催

委員会名	丹波支所	瑞穂支所	和知支所	合計
地域在宅福祉委員会	0	0	0	0
心配ごと相談所運営委員会	1（全体会）			1
福祉資金貸付委員会	2	1	0	3
ボランティアバンク運営委員会	2			2
共同募金配分委員会	1（全体会）			4
	1	1	1	

【在宅福祉推進事業】

●福祉サービス利用援助事業

認知症や障害等により判断能力の不確かな方と契約を結び、利用者の自己決定に基づき、福祉サービスの利用援助や通帳・はんこの預かりによる日常的な金銭管理などの支援を行う。

■契約・支援等の件数・・・平成28年3月31日現在

	26年度契約件数					新規契約数	解約件数	保留件数	27年度支援件数					受給者数 生活保護	相談継続件数
	認知症	知的障害	精神障害	その他	計				認知症	知的障害	精神障害	その他	計		
丹波支所	5	3	1	0	9	2	2	1	6	2	1	0	9	1	1
瑞穂支所	4	0	1	0	5	2	1	0	4	0	1	1	6	0	0
和知支所	3	0	0	0	3	1	1	0	2	0	0	1	3	0	0
合計	12	3	2	0	17	5	4	0	12	2	2	2	18	1	0

① 平成27年度 新規契約者数 → 5名

② 平成27年度 解約者数 → 4名

■支援内容

支援内容	丹波	瑞穂	和知	合計	備考
○福祉サービス利用援助	9	6	3	18	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的な金銭管理	9	6	3	18	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・はんこの預かり	9	6	3	18	通帳・はんこの管理
○書類等預かりサービス	4	6	0	10	年金証書、権利証書の預かり

■専門員・支援員研修の開催

研修会等の名称	開催日
(1) 専門員	
・第1回専門員・担当職員テーマ別研究交流会	H27.6.26
・南丹ブロック生活支援員研修交流会検討会議	H27.7.10
・	H27.8.25
・	〃
・南丹ブロック事例等検討会	H27.9.11
・第6回契約締結審査会（北部会場）	H27.9.15
・第2回専門員・担当職員	H28.2.10
・テーマ別研究交流会	H28.2.22
(2) 生活支援員	
・南丹ブロック現任生活支援員研修交流会	H27.12.10
・傾聴講座（町社協主催）	H28.2.22、29
・生活支援員現任研修（北部）	H28.3.9
・生活支援員現任研修（南部）	H28.3.16

■相談受付・対応件数

	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
利用者や家族らとの連絡調整・相談等	1,567	680	312	85	2,644
生活支援員との連絡調整・相談等	534	96	125	91	846
その他関係者との連絡調整・相談等	945	612	308	143	2,008
カンファレンスへの参加	29	24	6	4	66
合 計	3,078	1,412	751	323	5,564

【成果・課題】

平成27年度は、4件の解約を行った。解約の理由は、利用者の判断能力の低下（意思が示せない、自己決定できない）による解約が2件（丹波1、瑞穂1）、施設入所（特養）が1件（和知1）、本人申し出（家族対応へ移行）による解約が1件（丹波1）であった。

それに対し、27年度中の新規契約は5件であった。その区分は、認知症高齢者等が4件（丹波2、瑞穂2）、その他（金銭管理不得手）が1件（和知1）であった。

課題としては、ケースの複雑化（利用者だけでなくその世帯の支援が必要になるケースや、夫婦共に支援が必要になるケース、認知症による利用者の支援要望の頻度増加など）や多様化（サポートハウス入居者への支援や、金銭管理が難しい方の支援など既存の区分以外のケースが出ている）への対応が求められている点が挙げられる。地域で暮らしておられる利用者の生活状況や抱えておられる問題・課題は、当然のことであるが個々により異なっているため、社協に入る相談は1つとして同じケースはない。高齢化が進んでいる中、相談件数や契約件数は増加することが予想されるため、このようなケースの複雑化・多様化については、これからも進むことになるであろう。

【高齢者福祉事業】

●介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

職 種 名	丹波事業所	瑞穂事業所	計	備 考
管理責任者	1	1	2	
ケアマネジャー	3	2	5	名管理責任者兼務

■予防介護支援事業の実績（要支援1・2の利用状況実績）

	要 支 援 1		要 支 援 2		合 計
	丹波事業所	瑞穂事業所	丹波事業所	瑞穂事業所	
27年度利用状況	26	18	167	52	263
26年度利用状況	60	25	218	59	362
25年度利用状況	38	26	279	104	447
26年度比較 (%)	43.3%	72.0%	76.6%	88.1%	72.7%
25年度比較 (%)	68.4%	69.2%	59.9%	50.0%	58.8%

■居宅介護支援事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

	介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		合 計
	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	
27年度利用状況	344	234	462	301	196	125	41	91	27	0	1,821
26年度利用状況	372	177	383	319	144	98	64	119	25	11	1,712
25年度利用状況	316	144	386	258	161	89	101	76	30	16	1,577
26年度比較 (%)	92.5	132.2	120.6	94.4	136.1	127.6	64.0	76.5	108.0	-	106.3
25年度比較 (%)	108.9	162.5	119.7	116.7	121.7	140.4	40.6	119.7	90.0	-	115.5

【成果・課題】

利用者数の増により介護支援専門員一人当たりの標準担当件数35人に迫る数を受け持っている。
引き続き現数字を維持していく。

しかし、要介護1、2の利用者が圧倒的に多く、次期改正（H30年度）には要介護1、2までの給付見直しが検討されており、今後の動向をしっかりと見据えた対応が必要になってくる。

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

職 種 名	丹波事業所	瑞穂事業所	計	備 考
管理者	1	1	2	
サービス提供責任者	1	1	2	
常勤ホームヘルパー	1	2	3	(S 提供責任者含む)
登録ホームヘルパー	10	6	16	

■ 予防訪問介護事業の実績 (要支援1・2の利用状況実績)

	要 支 援 1		要 支 援 2		合 計
	丹波事業所	瑞穂事業所	丹波事業所	瑞穂事業所	
27年度利用状況(人)	52	36	42	12	142
26年度利用状況(人)	46	36	70	13	165
25年度利用状況(人)	10	20	61	28	119
26年度比較(%)	113.0%	100.0%	60.0%	92.3%	86.1%
25年度比較(%)	520.0%	180.0%	68.9%	42.9%	119.3%
27年度提供回数(回)	226	134	153	46	559
26年度提供回数(回)	157	140	294	51	642
25年度提供回数(回)	37	76	238	194	545
26年度比較(%)	143.9%	95.7%	52.0%	90.2%	87.1%
25年度比較(%)	610.8%	176.3%	64.3%	23.7%	102.6%

■ 訪問介護事業の実績 (介護1～5までの利用状況実績)

	介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		合 計
	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	
27年度利用	102	93	79	114	63	38	32	30	9	0	560
26年度利用	109	62	108	122	55	37	34	34	12	3	576
25年度利用	123	67	137	104	38	42	48	38	19	7	623
26年度比較	93.6	150.0	73.1	93.4	114.5	102.7	94.1	88.2	75.0	-	97.2
25年度比較	82.9	138.8	57.7	109.6	165.8	90.5	66.7	78.9	47.4	-	89.9
27年提供数	514	603	928	883	993	309	500	699	394	0	5,823
26年度提供	998	485	702	806	940	209	405	823	532	10	5,910
25年度提供	1,003	460	875	621	476	475	1,229	513	746	38	6,436
26年度比較	51.5	124.3	132.2	109.6	105.6	147.8	123.5	84.9	74.1	-	98.5
25年度比較	51.2	131.1	106.1	142.2	208.6	65.1	40.7	136.3	52.8	-	90.5

(3) 訪問入浴介護事業・・・入浴車で在宅に訪問し、入浴支援

職 種 名	瑞穂事業所	備 考
管理責任者	1	
介護職員	2	
看護師	2	

■ 予防訪問入浴事業・・・27年度利用者なし

■ 訪問入浴介護事業（介護1～5の利用上実績）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
27年度利用状況（人）	7	2	0	6	4	19
26年度利用状況（人）	0	0	0	11	7	18
25年度利用状況（人）	0	1	0	14	4	19
26年度比較	-%	-%	0%	54.5%	57.1%	105.6%
25年度比較	-%	200.0%	0%	42.9%	100.0%	100.0%
27年度提供回数（回）	31	5	0	23	8	67
26年度提供回数（回）	0	0	0	34	10	44
25年度提供回数（回）	0	3	0	51	11	65
26年度比較	-%	-%	0%	67.6%	80.0%	152.3%
25年度比較	-%	166.7%	0%	45.1%	72.7%	103.1%

（4）通所介護事業・・・デイサービスセンターで、入浴・余暇活動等を提供

■ 予防通所介護事業の実績（要支援1・2の利用状況実績）

	要支援1	要支援2	合計
27年度利用状況（人）	4	75	79
26年度利用状況（人）	15	102	117
25年度利用状況（人）	11	116	127
26年度比較	26.7%	73.5%	67.5%
25年度比較	36.4%	64.7%	62.2%
27年度提供回数（回）	20	449	469
26年度提供回数（回）	48	733	781
25年度提供回数（回）	37	734	771
26年度比較	41.7%	61.3%	60.1%
25年度比較	54.1%	61.2%	60.8%

【成果・課題】

要支援者数は減少傾向にある。要支援からの要介護への重度化が考えられる。

■ 通所介護事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
27年度利用状況（人）	201	250	117	81	24	673
26年度利用状況（人）	196	200	85	104	41	626
25年度利用状況（人）	174	184	110	77	33	578
26年度比較	102.6%	125.0%	137.6%	77.9%	58.5%	107.5%
25年度比較	115.5%	135.9%	106.4%	105.2%	72.7%	116.4%
27年度提供回数（回）	1,340	2,175	1,077	681	133	5,406
26年度提供回数（回）	1,263	1,687	815	573	227	4,565
25年度提供回数（回）	1,272	1,540	625	538	177	4,152
26年度比較	106.1%	128.9%	132.1%	118.8%	58.6%	118.4%
25年度比較	105.3%	141.2%	172.3%	126.6%	75.1%	130.2%

【成果・課題】

要介護者の重度化、他施設への入所、死去により全体的に減少の時期もあったが、2月から増加傾向にある。また、昨年11月より個別機能訓練加算の算定を開始したので、収益増が見込まれる。

●高齢者支援事業・・・京丹波町委託事業

(1) 軽度生活支援事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、一人ぐらし世帯・高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯、日常生活上の援助が必要な方

■内 容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助

■提供者：ホームヘルパー

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
27年度利用者数(人)	7	40	0	47
26年度利用者数(人)	19	50	0	69
25年度利用者数(人)	35	30	0	65
26年度比較	36.8%	80.0%	0%	68.1%
25年度比較	20.0%	133.3%	0%	72.3%
27年度提供回数(回)	18	54	0	72
26年度提供回数(回)	78	107	0	185
25年度提供回数(回)	120	91	0	211
26年度比較	23.1%	50.5%	0%	38.9%
25年度比較	15.0%	59.3%	0%	34.1%

(2) 外出支援事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者、または概ね60歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関の利用が困難な方

■内 容：居宅から医療機関までの送迎サービス

■提供者：運転介助員、ホームヘルパー、輝き銀行登録者

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
27年度利用者数(人)	693	558	239	1,490
26年度利用者数(人)	720	534	239	1,493
25年度利用者数(人)	683	445	223	1,361
26年度比較	96.2%	104.5%	100.0%	99.8%
25年度比較	101.5%	125.4%	107.2%	109.5%
27年度提供回数(回)	2,585	2,029	479	5,093
26年度提供回数(回)	2,706	1,983	401	5,090
25年度提供回数(回)	2,659	2,287	421	4,709
26年度比較	95.5%	102.3%	119.5%	100.1%
25年度比較	97.2%	88.7%	113.8%	108.2%

【成果・課題】

- ・外出支援事業の運転を訪問介護事業所の登録ヘルパーが関わることは困難になってきた。ヘルパーが訪問活動を中心に活動する為には、外出支援の運転手の確保と調整役の確保が課題となる。

(3) - 1 食の自立支援事業（毎日給食）

■対象者：おおむね65歳以上で単身者、高齢者のみの世帯で自立支援の観点でこのサービス利用が適切であると認められた方

■内 容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配、安否確認

■利用料：1食 500円

	瑞 穂	和 知	合 計
27年度利用者数（人）	550	181	731
26年度利用者数（人）	476	189	656
25年度利用者数（人）	495	169	664
26年度比較	115.5%	95.8%	111.4%
25年度比較	111.1%	107.1%	110.0%
27年度提供食数（食）	9,179	3,507	12,686
26年度提供食数（食）	8,565	3,849	12,414
25年度提供食数（食）	7,764	3,392	11,159
26年度比較	107.2%	91.1%	102.2%
25年度比較	118.2%	103.4%	113.7%

(3) - 2 食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

■対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等の高齢者

■内 容：調理・配食ボランティアによる月2回実施の「かけはし弁当」

■利用料：1食 300円

	利用者食数	調理ボラ数	配食ボラ数
27年度配食数	1,066	119	330
26年度配食数	977	122	333
25年度配食数	1,025	122	383
26年度比較	109.1%	97.5%	99.0%
25年度比較	104.0%	97.5%	86.2%

(3) - 3 高齢者食生活改善事業（高齢者ふれあい調理実習会）

■対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等の高齢者

■内 容：食生活改善推進員協議会「くるみの会」の協力を得て、「作る喜び」「大勢で食べる喜び」等を感じてもらおうと共に、調理方法を学ぶ

■利用料：1食 300円

<丹波地区>

	対象地域	開 催 日	開 催 場 所	参加者数	くるみの会
第1回	竹野地区	6月24日	竹野若竹センター	5	6
	高原地区	6月23日	丹波中央公民館	9	6
	須知地区	6月25日	丹波中央公民館	8	7
	下山地区	6月26日	丹波中央公民館	16	5
第2回	竹野地区	12月4日	竹野若竹センター	5	5
	高原地区	11月24日	丹波中央公民館	9	7
	須知地区	11月30日	丹波中央公民館	8	9
	下山地区	11月27日	丹波中央公民館	14	6
合 計				74	51

<瑞穂地区>

	対象地域	開催日	開催場所	参加者数	くるみの会
第1回	桧山地区	7月7日	瑞穂保健福祉センター	7	3
	橋爪サロン	7月9日	橋爪区公民館	20	1
	井脇サロン	7月13日	井脇区公民館	21	2
	小野サロン	7月3日	小野区公民館	10	1
	坂井サロン	6月15日	坂井区公民館	7	1
	水原サロン	7月16日	梅田振興センター	21	3
	上大久保サロン	7月23日	上大久保区公民館	17	3
	鎌谷中サロン	6月25日	鎌谷中区公民館	21	4
	三ノ宮地区	7月9日	三ノ宮基幹集落センター	9	2
	行仏サロン	7月15日	行仏区公民館	8	2
	下村サロン	6月19日	下村区公民館	29	1
第2回	桧山地区	11月12日	瑞穂保健福祉センター	8	2
	梅田地区	11月30日	梅田振興センター	11	5
	質美地区	11月27日	質美振興センター	11	3
	井脇サロン	11月25日	井脇区公民館	15	2
	大朴サロン	11月25日	大朴区区会	31	3
	小野サロン	11月20日	小野区公民館	11	1
	長谷サロン	12月3日	長谷区集会所	8	2
	鎌谷中サロン	11月19日	鎌谷中区公民館	22	4
	栗野サロン	11月4日	栗野区公民館	19	1
	水呑 季楽里	11月18日	水呑区公民館	16	1
	サロン三ノ宮	11月10日	三ノ宮基幹集落センター	10	2
	中村サロン	12月3日	中村区公民館	7	2
	北久保サロン	11月18日	公民館	14	3
合 計				353	54

<和知地区>

	対象地域	開催日	開催場所	参加者数	くるみの会
第1回	中山区	7月11日	中山生活改善センター	7	2
	升谷区	7月8日	升谷公民館	5	1
	市場区	7月9日	市場ふれあいプラザ	12	3
	大倉区	7月10日	大倉文化センター	8	2
	篠原区	7月6日	篠原公民館	8	3
	大迫区	7月17日	大迫公民館	11	3
	長瀬区	7月10日	長瀬公民館	12	1
	塩谷区	7月10日	塩谷公民館	5	1
	上乙見区	7月9日	上乙見公民館	6	2
	西河内区	7月8日	西河内集落センター	13	2
	下栗野区	7月11日	下栗野公民館	11	1
	細谷区	7月31日	細谷共同集会所	4	1
	上栗野区	7月8日	上栗野生活改善センター	4	1
	仏主区	7月13日	仏主すこやかセンター	4	1
	本庄区	7月16日	和知ふれあいセンター	5	2

	坂原区	7月13日	坂原公民館	10	2
	中区	7月7日	中公民館	11	2
	角区	7月10日	角公民館	10	2
	広瀬区	7月11日	広瀬公民館	11	1
	才原区	7月2日	才原生活改善センター	15	2
	大簾区	7月27日	大簾公民館	5	3
	広野区	7月11日	広野公民館	7	4
	出野区	7月24日	出野	6	2
	稲次区	7月25日	稲次公民館	11	3
	安栖里区	7月7日	農村環境改善センター	9	4
	小畑区	7月15日	小畑公民館	11	4
第2回	中山区	11月11日	中山生活改善センター	12	3
	升谷区	11月8日	升谷公民館	4	2
	市場区	11月9日	市場ふれあいプラザ	7	3
	大倉区	11月10日	大倉文化センター	5	2
	篠原区	11月6日	篠原公民館	6	4
	大迫区	11月17日	大迫公民館	7	3
	長瀬区	11月10日	長瀬公民館	14	1
	塩谷区	11月10日	塩谷公民館	5	1
	上乙見区	11月9日	上乙見公民館	5	2
	西河内区	11月8日	西河内集落センター	11	2
	下栗野区	11月11日	下栗野公民館	10	1
	細谷区	11月31日	細谷共同集会所	4	1
	上栗野区	11月8日	上栗野生活改善センター	2	1
	仏主区	11月13日	仏主すこやかセンター	4	1
	本庄区	11月16日	和知ふれあいセンター	5	2
	坂原区	11月13日	坂原公民館	7	2
	中区	11月7日	中公民館	12	2
	角区	11月10日	角公民館	6	2
	広瀬区	11月11日	広瀬公民館	10	2
	才原区	11月2日	才原生活改善センター	16	3
	大簾区	11月27日	大簾公民館	6	3
	広野区	11月11日	広野公民館	6	3
	出野区	11月24日	出野	4	2
	稲次区	11月25日	稲次公民館	8	2
安栖里区	11月7日	農村環境改善センター	8	4	
小畑区	11月15日	小畑公民館	11	4	
合 計				416	118
27年度実績（ふれあい調理実習会）				843	218

＜男性調理実習会＞

	対象地域	開 催 日	開 催 場 所	参加者数	くるみの会
第1回	町内全域	6月23日	和知ふれあいセンター	8	6
第2回	町内全域	9月15日	和知ふれあいセンター	7	5
第3回	町内全域	12月8日	和知ふれあいセンター	11	5

第4回	町内全域	1月22日	和知ふれあいセンター	10	6
27年度実績（男性調理実習会）				36	22
（ふれあい調理）＋（男性調理）				879	240
合計				1,119	

【成果・課題】

平成27年度は、各地域（地区）で年間2回のふれあい調理実習会と、年間4回の男性調理実習会を開催した。特に、瑞穂地域では新たにふれあい調理実習会を各区のサロンで開催するように変更をしたところ、前年度に対し279名も増え、477%の増加となった。それに合わせ、全体の参加者も590名であった参加者が879名と289名増え、前年度に対し149%と増加する結果となり、多くの方に喜んでいただけた。

調整や事前・当日の準備に課題があるが、くるみの会など関係団体と業務を分担するなどして次年度以降も積極的に取組んでいく必要がある。また、延べ1,000名近くの参加者のある事業であるため、参加者へ福祉制度の案内や情報の発信、参加者を対象とした調査を行うなど、より意義のある事業にしていきたい。



（4）訪問理美容事業

- 対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等
- 内容：社協に登録された理美容師が訪問し、理美容を行う
- 利用料：1回 1,000円

	丹波	瑞穂	和知	合計
27年度利用者数（人）	17	8	11	36
26年度利用者数（人）	26	0	7	33
25年度利用者数（人）	23	4	7	34
26年度比較	65.4%	-%	157.1%	109.1%
25年度比較	73.9%	200.0%	157.1%	105.9%

(5) ミニデイサービス事業（にこにこクラブ）

- 対象者：介護予防を主眼とし、介護認定以外の高齢者を対象とする
- 内 容：5班体制で、月2回、健康観察とレクリエーションを中心にして、引きこもりの予防やコミュニケーション（出会い）を大切に活動を実施
- 指導者：支援スタッフ…6名、看護師…4名、合計10名
- 会 場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

月	開 催 日	参加者数	スタッフ数
4月	21日、23日、30日	58	20
5月	7日、12日、14日、19日、21日、28日	105	40
6月	2日、4日、11日、16日、18日、25日	105	40
7月	7日、9日、16日、21日、23日、30日	98	40
8月	18日、20日、27日	47	20
9月	1日、3日、10日、15日、17日、24日	100	40
10月	8日、20日、22日、29日	101	29
11月	5日、10日、12日、17日、19日、26日	89	40
12月	1日、3日、10日、15日、17日、24日	107	40
1月	19日、21日、28日	49	20
2月	2日、4日、12日、16日、18日、25日	104	20
3月	1日、3日、10日、15日、17日	93	30
27年度利用者数合計 60回		1,056	379
26年度利用者数合計		1,103	402
26年度比較		95.7%	94.3%

【成果・課題】

- ・月2回だが長い期間継続して来ておられる方は体操の成果が得られ体力の維持につながっている。
- ・体調が悪い時はすぐに医療機関につなぐことができ、安心して参加されている。
- ・高齢の利用者もあるため、一人ひとりのペースに合わせた対応の必要性が高まっているなか、新総合事業に移行することで利用者の幅が広がるため、さらなる柔軟な対応が必要と考えている。
- ・利用者の意向と家族の意向が異なり、適切なサービス提供が出来ているのか判断の難しいケースがあったが、サービスの提供がより良いものとなるよう関係機関と連携をとって進めていきたい。



●障害者自立支援事業

(1) 居宅介護・重度訪問介護事業（瑞穂、丹波訪問介護事業所）

■ホームヘルパーによる在宅支援活動

	障害支援 区分1	障害支援 区分2	障害支援 区分3	障害支援 区分4	障害支援 区分5	障害支援 区分6	合 計
27年度利用者数	24	30	41	0	0	20	115
26年度利用者数	24	32	35	0	0	24	115
25年度利用者数	24	41	27	0	3	30	125
26年度比較	100.0%	93.8%	117.1%	0%	0%	83.3%	100.0%
25年度比較	100.0%	73.2%	151.9%	0%	-%	66.6%	92.0%
27年度提供回数	214	125	290	0	0	458	1,087
26年度提供回数	91	123	132	0	0	368	714
25年度提供回数	96	181	130	0	10	745	1,162
26年度比較	235.2%	101.6%	219.6%	0%	0%	124.5%	152.2%
25年度比較	222.9%	69.1%	223.1%	0%	-%	61.5%	93.5%

(2) 外出支援事業（一般外出）

■対象者：障害者手帳を所持されている方で、公共交通機関を利用することが困難な方

■内 容：障害者の自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物の送迎

■提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

	合 計		合 計
27年度利用者数（人）	50	27年度提供回数（回）	187
26年度利用者数（人）	52	26年度提供回数（回）	215
25年度利用者数（人）	37	25年度提供回数（回）	282
前年度比較（%）	96.2%	前年度比較（%）	87.0%
25年度比較（%）	135.1%	25年度比較（%）	66.3%

(3) 重度心身障害児・者通院通所事業

①人工透析通院送迎

■対象者：人工透析患者

■内 容：人工透析のための通院送迎

■提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

	合 計		合 計
27年度利用者数（人）	195	27年度提供回数（回）	1,708
26年度利用者数（人）	180	26年度提供回数（回）	1,486
25年度利用者数（人）	202	25年度提供回数（回）	1,865
前年度比較（%）	108.3%	前年度比較（%）	114.9%
25年度比較（%）	96.5%	25年度比較（%）	91.6%

②花ノ木通所送迎

■対象者：重症心身障害児者

■内 容：花ノ木医療福祉センター（亀岡市）利用のための通所送迎事業

■提供者：社協外出支援運転手、看護師

	合 計		合 計
27年度延べ利用者数（人）	21	27年度提供回数（回）	90
26年度延べ利用者数（人）	24	26年度提供回数（回）	98
25年度延べ利用者数（人）	24	25年度提供回数（回）	108
26年度比較	87.5%	26年度比較	91.8%
25年度比較	87.5%	27年度比較	83.3%

【成果・課題】

- ・利用者が年齢を重ねることで、体力の低下や身体の障害が重度化し花ノ木医療センター（亀岡市）までの送迎ができない時期があった。

（４）障害者ガイドヘルパー派遣事業

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
27年度利用者数（人）	21	14	39	74
26年度利用者数（人）	26	24	26	76
25年度利用者数（人）	25	13	18	56
26年度比較	80.8%	58.3%	150.0%	97.4%
25年度比較	84.0%	107.7%	260.0%	132.1%
27年度提供回数（回）	97	15	77	189
26年度提供回数（回）	93	55	50	198
25年度提供回数（回）	163	14	51	228
26年度比較	104.3%	27.3%	154.0%	95.5%
25年度比較	59.5%	107.1%	151.0%	82.9%

（５）障害者共同作業所運営事業

※巻末に掲載

【児童福祉事業】

(1) ファミリー・サポート・センター事業

① 各会員登録状況（3月末）

会 員 名	会 員 数	前年度	退会数
依頼会員（お願い会員）	50人	42人	3人
提供会員（預かり会員）	41人	37人	2人
両方会員	11人	8人	1人

- ・退会の主な理由は、転出であった。
- ・両方会員については、両方会員から提供会員への移行。

② 研修会の開催・・・預かり会員養成研修会及び会員交流会

NO	開 催 日	研 修 内 容
1	講習1日目：5月22日（金） 講習2日目：5月26日（火） （両日9：00～16：00） 補講日：5月27日（水） （13：00～16：00）	預かり会員として活動するために 京丹波町の子育て支援について 受講生交流 緊急対策と応急処置 救急救命講習 子どもの安全と病気の世話について
2	講習1日目：12月 1日（火） 講習2日目：12月 8日（火） （両日9：00～16：00）	子どもの権利（人権）に関すること 子どもの社会性と遊びについて レポート作成
3	11月23日（日） 9:00～16:00	登録会員交流会 依頼提供両方会員交流会 見学バス遠足 「福井県子ども家族館」 見学 参加 会員21人（子ども22人）
4	3月6日（日） 10:00～12:30	一般交流会 「人形劇鑑賞会」人形劇団「むむのこ」公演 参加 121人

③ 活動実績・・・調整状況（3月末）

事 業 名	回 数	内 容
マッチング	16回	・保育施設への送迎について ・急な仕事の時の預かりについて ・親の用事の時の預かりについて ・習い事教室への送迎等
活動実績	224回	・保育施設前後の預かりと送迎（10件） ・保育施設への送迎（156件） ・放課後の預かり（1件） ・買い物外出時の預かり（11件） ・保護者就労時の預かり（5件） ・兄弟の病気の時の預かり（1件） ・保育施設が休みの時の預かり（1件） ・習い事への送迎（39件）

- ・送迎の依頼が増加傾向にある。

④ 「預かり保育ルーム」実績

実施月	日（曜日）	場所	預かり乳幼児数（人）	スタッフ数（人）
27年4月	21（火）	ほほえみ	2	2
5月	15（金）	ほほえみ	2	2
	20（水）	ほほえみ	3	3
6月	15（月）	ほほえみ	5	4
7月	8（水）	ほほえみ	2	2
	16（木）	ほほえみ	1	1
9月	25（金）	ほほえみ	4	3
10月	16（金）	ほほえみ	3	3
	22（木）	ほほえみ	2	2
11月	13（金）	ほほえみ	2	2
	26（木）	ほほえみ	2	2
12月	21（月）	ほほえみ	2	2
28年1月	29（金）	ほほえみ	4	4
2月	15（月）	ほほえみ	3	3
合計	14回		37	35
前年度比	20回		78	42

- ・利用申し込みも少なく開催回数、人数も極端に減少している。（前年度比）
- ・原因としては、保育所利用内容の拡充、対象乳幼児の減少などがあげられる。日時が設定されているので利用しにくいという声もある。



▲預かり会員養成講座（手遊び・救命救急法など）、保育ルームも設け受講しやすい環境も整えています。



▲登録会員相互の交流や一般交流会を開催することで、本事業をさらに利用しやすくすると同時に地域で子育てを支援する目的を広く伝えました。

【地域福祉推進事業】

1 啓発活動の展開

(1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行：年4回の発行

NO	表紙	発行日	内 容
第31号		4月17日発行	日赤社資協力のお祝い、家族介護者交流事業、心配ごと相談所開設日のお知らせ、職員配置図、ファミリー・サポート・センターよりお知らせ、作業所 NEWS、寄付お礼、車イス寄贈のお礼
第32号		6月17日発行	27年度事業計画、27年度予算、社協会費のお祝い、社協事業紹介、災害ボランティアセンター（災害時用資機材の配備）、作業所 NEWS、ファミリー・サポート・センターよりお知らせ、調理実習会メニューのお知らせ、寄付お礼
第33号		9月17日発行	会長就任の挨拶、新役員・新評議員紹介、平成26年度事業報告・決算報告、赤い羽根共同募金のお祝い、福祉体験学習、福祉まつり開催のお知らせ、作業所 NEWS、ファミリー・サポート・センターよりお知らせ、寄付お礼
第34号		1月17日発行	理事・監事の新春メッセージ、第4回福祉まつり、しあわせ川柳、NEWS、ファミリー・サポート・センターよりお知らせ、高齢者安心サポート企業研修、京都府福祉大会、住民寄り添い型助け合い活動「かがやき」、寄付お礼、募金機能付き自販機設置及び募金のお礼（赤い羽根共同募金）

【成 果】

京丹波町社協の広報紙として年に4回（季刊誌）、全戸配布で発行した。法人の基本理念や事業計画・予算、事業報告・決算の情報を町民のみなさんへお伝えしたり、福祉まつりや災害情報などについての発信を行った。また毎号において共同作業所ニュース、ファミサポよりのお知らせを掲載し、障害者福祉、子育て情報についての広報も行った。また、赤い羽根共同募金・日赤社資など募金活動についての取組みや、社協・共同作業所に寄付いただいた方々の掲載も行っている。

【課 題】

必ず掲載しなければならない記事（事業計画・予算、事業報告・決算など）があるため発行時期がほぼ決まっているが、社協が開催する行事も例年同じ時期に開催するため、毎回紙面の内容に偏りが出てしまう。今後は、介護保険サービスの記事や新規事業の紹介など、できるだけ様々な情報が発信できるように工夫していきたい。

(2) 第4回「福祉まつり」の開催

27年度は『つながろう地域～共に支え合う社会へ～』をテーマとして開催した。講演についてもテーマを意識した内容で実施し、まつり全体を通じて『社協～ボランティア～地域住民』、『共同作業所～利用者～下請け作業をいただく企業』、など、色々なかたちの『つながり』『支え合い』を来場者や関係者に感じていただける内容で開催をした。

【日時】平成27年11月1日（日）午前10時00分～午後3時00分

【場所】山村開発センター みずほ

【内容】●京丹波町福祉功労者表彰

・ボランティア活動功労者（個人：18名、団体：今年度は対象無し）

●地域障害者福祉功労者表彰（企業：11社、個人：5名）※表彰は企業・個人の別無し

●福祉講演会（記念講演）

・テーマ『つながろう地域～共に支え合う社会へ～』

講師：田川 雅規 氏（あそびの工房 もくもく屋）

●社協活動・ボランティア活動の紹介パネル展示（活動紹介パネルの展示）

●ボランティア活動発表 ●しあわせ川柳 ●クイズラリー ●職員紹介

●防災コーナー（災害ボラセンコーナー、簡単な防災用品、非常食の試食など）

●キッズコーナー、レクリエーションコーナー

●共同作業所通所者による歌の披露 ●共同作業所自主製品販売

●保健福祉課健康コーナー（保健師による骨密度、血圧、血管年齢等、健康チェック）

●くるみの会試食会 ●協力団体による模擬店



▲共同作業所利用者による歌の披露



▲京丹波町福祉功労者表彰



▲福祉講演会 講師：田川雅規 氏



▲ボランティア活動発表

2 地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切に活動の展開

(1) ふれあいいいきサロン活動の展開

① ふれあいいいきサロン各地区の設置状況

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
設置状況	31地区／34地区 (91.2%) 障害者サロン1 広域サロン1を含む	29地区／35地区 (82.8%) 広域サロン1を含む	13地区／27地区 (48.1%)	73地区／96地区 (76.0%)
活動状況	・延べ開催実績 288回	・延べ開催実績 482回	・延べ開催実績 134回	・延べ開催実績 904回

② 研修・交流活動

研修名	開催日時	内容
京丹波町ふれあい・いきいきサロン活動者交流研修会	平成28年 1月29日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> 活動報告（丹波地区 下山駅前サロン 瑞穂地区 水呑サロン 和知地区 中竹輪グループ） グループ情報交換 保険の説明（株）SRM 田中努氏 社協より（かがやき、社協助成金のお知らせ） レク道具の展示。参加者95名
平成27年度ふれあいいいきいきサロン連絡会（和知地区）	5月26日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> 各サロンの活動紹介 くらしの課題、困りごとについて サロンで利用できる事業の紹介、レク道具の紹介 参加者12名
丹波地区ふれあいサロン連絡会	6月11日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度ふれあい調理実習について 京丹波町におけるサロン活動の動向について 情報交換会 レクリエーション展示 参加者35名
瑞穂地区ふれあい・いきいきサロン活動者連絡会	5月25日 (水)	瑞穂地区くるみの会と共催事業である「ふれあい調理実習」を4地域で開催してきたが、27年度から各区で開催するように計画した。開催にあたり、サロンプログラムの1つとして実施依頼にあたっての説明会。その後は、地区に分かれ、グループワーク。参加者28名

【成果・課題】

- ・高齢化に伴い担い手が少なくなりサロンを実施できない地区（和知地区）があったが、地域振興会の活動が活発になり、一つの区ではできない地域も地域振興会のバックアップで、活動が再開されたサロンもあった。



▲京丹波町ふれあいいいきいきサロン活動者交流研修会

(2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

項目 / 地区	丹波	瑞穂	和知	合計
活動回数	125	41	165	331
延べ訪問回数	113	30	152	295
訪問対象件数	11	28	15	54
サークル員数	8	7	9	24

(3) 一人暮らし高齢者レクリエーション事業

対象	京丹波町在住の一人暮らし高齢者
開催日時	【丹波地区】平成27年10月20日(火) 10:30~14:30 【瑞穂地区】平成27年10月21日(水) 9:00~16:00 【和知地区】平成27年11月20日(金) 10:00~15:00
開催場所	【丹波地区】道の駅「和」 【瑞穂地区】宇治市源氏物語ミュージアム・道の駅「味夢の里」 【和知地区】道の駅「和」・道路情報センター
開催目的	京丹波町民生児童委員協議会と連携し、孤立しがちな一人暮らし高齢者が集える機会をつくり交流を深める中で、ひとり暮らし高齢者が抱える特有の生活問題を出し合い、生きがい作りに繋げる。
出席者	【丹波地区】総数86名(対象者数68名、民生児童委員15名、職員3名) 【瑞穂地区】総数57名(対象者数40名、民生児童委員14名、職員3名) 【和知地区】総数89名(対象者数65名、民生児童委員21名、職員3名)
協働体制	保健福祉課、丹波地域保健福祉室、和知地域保健福祉室 京丹波町民生児童委員協議会
協力者	要約筆記ボランティア、フラダンスサークル、京丹波スリーA、 銭太鼓サークル、日本舞踊安田あつみ氏、湊敏氏、尺八グループ

【成果】

- ・ひとり暮らし高齢者という同じ立場の者同士が集う場は、自然発生的に形成されることが難しい。また、そのような場に専門職や民生児童委員が深く関わることも難しい。お互いの立場が予め分かっている安心安全な場での情報交換・情報共有の意義は深く、生活課題の把握や必要な支援につなぐ貴重な機会になっている。
- ・介護予防、生きがいづくりにつながる内容を実施することで、対象者の自立促進、地域で主体的に生活することに繋げている。

【課題】

- ・近年の動向としては日帰り旅行より町内での集いが、より多くの方が参加しやすく、ゆっくりと交流できる形態となっている。そのため、一部の当事者から日帰り旅行への強い要望があるものの、28年度は3地区とも町内での交流会を実施する方向である。



▲27年度それぞれの地区で行われた事業の様子

(4) 住民寄り添い型助け合い活動「かがやき」事業

- 世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められている中、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持ちで助け合う活動の構築を目指す。

<活動者養成講座の開催>

開催日時	【1回目】平成27年11月21日(土) 13:30~15:30 【2回目】平成27年11月25日(水) 13:30~15:30 【3回目】平成27年12月1日(火) 13:30~15:30 【4回目】平成28年2月2日(火) 13:30~15:30
開催場所	瑞穂保健福祉センターほほえみ
内 容 講 師	【1回目】講義「住民主体による助け合い活動の必要性について」 講師：びわこ学院大学教育福祉学部 教授 平尾良治氏 【2回目】先進事例紹介 住民参加型在宅福祉サービス事業「暮らしのかけ橋」の実践 講師：宮津市社会福祉協議会福祉活動専門員 上辻孝太氏 【3回目】講義「傾聴の基礎を学ぶ」 講師：京都国際社会福祉センター 小松真佐子氏 【4回目】事前学習 「個人情報保護、物忘れ症状などの理解、感染症予防について」 京丹波町社協職員
参加人数 修了証	【1回目】男性12名・女性17名 計29名 【2回目】男性12名・女性17名 計29名 【3回目】男性9名・女性12名 計21名 全講義を受講された 【4回目】男性12名・女性16名 計28名 35名の方に修了証を交付
備 考	【1回目】講師より地域福祉活動の概論及び住民参加型活動を進める上でのポイントについて講義いただく。また、実際に活動を進める上での不安点を出し合うグループワークを実施。 【2回目】宮津市で取り組まれている住民参加型在宅福祉サービス事業の実践報告を聞き、お互い様の気持ちで助け合う活動の意義や重要性について学んだ。 【3回目】「聴く」「聴かない」のワークの中から、かかわり技法、伝え返し、質問技法、要約技法などの基本的な傾聴技法を学んだ。 【4回目】個人情報保護の基本的な考え方や守秘義務の重要性、物忘れ症状のある方との接し方及び認知症についての正しい理解をすすめた。さらに、基本的な感染症予防に関する考え方と対策について理解いただいた。

【成 果】

- ・ワークショップやグループワークなどを実施し、参加者に主体的に活動について考えてもらう機会となった。



▲活動者養成講座の様子



▲修了証の交付

(5) 地域福祉活動の基盤強化のためのネットワークづくり事業（京都府社協連合会補助金事業）

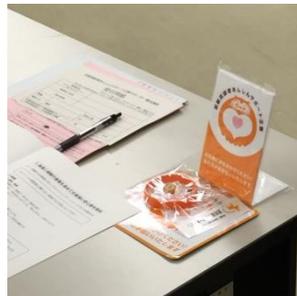
「京都高齢者あんしんサポート企業研修」の実施

- 高齢者が安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指し、高齢者に接することの多い町内商店や金融機関を対象に、高齢者の不安解消や認知症の方への理解や対応を研修することで高齢者に優しい事業所として、普段の業務の中からさりげない見守りをしていただくことを目的に実施した。

開催日	開催場所	参加事業所数	参加者数
10月 6日（火）	健康管理センター	14	22
10月15日（木）	瑞穂保健福祉センター	28	43
10月23日（金）	わちふれあいセンター	14	28

【成果・課題】

- ・町内の56事業所（93名）という多くの方に受講いただき、参加いただいた皆さんには「認知症サポーター養成講座」として認知症の症状や支援の方法のほか、高齢者の特性や家族支援についても学んでいただいた。
- ・翌日から、店の入口や配達に回るバイクなどに「京都高齢者あんしんサポート企業」を表示するステッカーやプレートを掲示していただく商店もあった。
- ・また、今回の取り組みをとおして、「気になる高齢者があるのだが」という相談から、初めて福祉サービスを利用され、現在でも地域の方々見守られながら自宅で生活されている。
- ・この取り組みをしっかりと継続するために、定期的な研修会の実施や高齢者だけでなく、障害者、児童への見守りネットワークに発展できるよう進めていきたい。



▲ 2人1組となってお客様役・対応者役になり接遇の研修を受けていただきました。（10/15 瑞穂会場にて）

▲ 受講後、商店に掲示された「高齢者安心サポート企業」のプレート

3 家族介護者交流事業（家族介護者リフレッシュ事業）

- 高齢者を介護している家族介護者が、介護保険制度の各種サービスを利用しながら、教養・文化活動等、介護者相互の交流会に参加することにより、介護からの一時的な解放と看護者の身体的、精神的な負担の軽減を図ることを目的に事業を実施する。
- 事業実施については、介護者が利用している施設・事業所、ケアマネジャー等の協力を得て行う。

	開催日	内容	参加状況
リフレッシュ事業	10月6日（火）	日帰り旅行として取組んだ今年度1回目の家族介護者の集いでは、嵐山の天龍寺にて雲龍図の特別拝観について旅行会社を通じて調整し、和尚の法話と合わせて貴重な体験をしていただいた。昼食については、天龍寺での精進料理を食べていただいた。昼食にかかる費用については、天龍寺と調整を行い参加費で収まるように配慮をいただいた。	23名
交流事業	3月4日（金）	アロマ体験教室として岡田氏を講師に招き、介護においてのアロマの効果（介護者をする者、される者の両方にとって臭いを香りに変えることでお互い気持ちが変わるなど）を教えていただき、自宅での介護に使えるアロマスプレー作りを行った。後半の介護者交流会では、日頃の介護の様子について情報交換を行い、参加者同士の交流を深めた。 今年度から町内での開催では昼食の用意をやめ、参加費を300円（茶菓子代相当個人負担）とした。また多くの方に参加していただけるよう、開催日を選択できるよう曜日を変えて2日、計画したが、2日のうち1日は参加者が無く、開催を取りやめた。	8名

【成果・課題】

京丹波町の委託事業として、家族介護者の一時的な介護からの解放・リフレッシュを目的に、年に2回（1回目は日帰り旅行、2回目は介護者交流会）取組んだ。

課題としては、参加者が少ないということがある。また、このような家族介護者支援の取組みについては、町内の事業所において、それぞれで取組んでおられることを踏まえて次年度以降は委託を受けない方向で検討している。



▲日帰り旅行（10/6）嵐山天龍寺



▲交流事業（3/4）健康管理センターにて

4 住民参加の地域福祉推進事業

(1) 社会福祉体験学習事業の実施

■対象 … 京丹波町在住の中学生、高校生及び須知高校の生徒

■内容 … 福祉施設等での体験を通じて福祉活動を学ぶことを目的に実施

開催日	内容	平26	平27	比較
	和知エンジェル(中学生)	0名	0名	
8月5日・6日・7日	瑞穂山彦苑(中学生)	2名	1名	-1
	長老苑(中学生)	2名	0名	-2
8月3日・4日・5日	みずほ保育所(中学生)	2名	3名	+1
	和知エンジェル(高校生)	3名	0名	-3
	長老苑(高校生)	0名	0名	
	みずほ保育所(高校生)	1名	0名	-1
	瑞穂山彦苑(高校生)	1名	0名	-1
8月3日・4日・5日	上豊田保育所(高校生)	2名	1名	-1
8月3日・4日・5日	上豊田保育所(中学生)	0名	2名	+2
中学生参加者合計		6名	6名	±0
高校生参加者合計		7名	1名	-6
参加者合計		13名	7名	-6

【成果・課題】

- ・インターハイの開催もあり高校との日程調整がむずかしく、須知高校からの参加が無かった。
- ・受入れが難しい事業所もあり、選択の幅が少なくなったことも参加者の減少につながった。



【ボランティア振興事業】

1 ボランティアバンク登録状況

(1) 年齢・男女別登録状況

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
丹波	男	6	3	5	3	20	16	53
	女	8	7	11	22	94	105	247
	計	14	10	16	25	114	121	300
	26	14	8	17	24	110	122	295
穂	男	0	2	1	1	7	8	19
	女	2	3	4	14	61	55	139
	計	2	5	5	15	68	63	158
	26	10	7	9	26	67	56	175
和知	男	0	0	0	0	21	8	29
	女	0	0	4	14	58	90	166
	計	0	0	4	14	79	98	195
	26	0	0	4	15	82	100	201
合計		16	15	25	54	261	282	653
26年度		24	15	30	65	259	278	671
比較		66.6%	100.0%	83.3%	83.0%	100.7%	101.4%	97.3%

2 ボランティア活動状況報告

(1) ボランティアグループ活動報告

①丹波地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間出勤人数
1	運転ボランティア「ハートフルカー」	2回	2名
2	要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」	57回	188名
3	朗読ボランティア「ともしび」	45回	248名
4	モンキーズ&ハッピーサークル	7回	62名
5	演芸ボランティア「丹波せせらぎ会」	28回	140名
6	演芸ボランティア「民謡みやび会」	7回	45名
7	演芸ボランティア「瑞舟会」	48回	189名
8	演芸ボランティア「苑の会」	4回	15名
9	お誕生カードボランティア「すずらん」	5回	19名
10	絵手紙ボランティア	13回	65名
11	くらしの応援ボランティア「ひらめき会」	11回	45名
12	保育ボランティア	41回	100名
13	美容ボランティア「愛(めぐみ)の会」	11回	44名
14	竹野ほほえみの会	66回	432名
15	蒲生ボランティアグループ	12回	95名
16	上豊田ひまわり会	1回	7名
17	豊田あじさいの会	52回	195名
18	グリーンハイツすみれ会	36回	188名
19	グリーンハイツなごみ会	10回	206名

20	さくらんぼ	11回	55名
21	富田萩の会	8回	112名
22	傾聴ボランティア「うさぎの耳」	125回	197名
23	蒲生野もこもこ文庫	20回	140名
24	演芸ボランティア「すみれ会」	27回	135名
25	アロハフラピカケ	33回	585名
26	和太鼓舞夢	88回	1992名
丹波支所活動計（イ）		768回	5,501名

②瑞穂地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間出勤人数
1	収集ボランティア「めぐみ」	6回	39名
2	要約筆記ボランティア「ささやき」	22回	40名
3	朗読ボランティア「あかり」	12回	58名
4	デイサービス介助ボランティア「あじさい」	449回	472名
5	暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」	18回	86名
6	暮らしの応援ボラ「ダイナミックス」	23回	117名
7	保育ボランティア	25回	42名
9	絵手紙ボランティア「ふきのとう」	10回	61名
10	押し花ボランティア「花かご」	21回	90名
11	配食ボランティア「虹のかけはし」	249回	424名
12	傾聴ボランティア「なかよし会」	43回	120名
13	手話サークル「いちょう」	26回	119名
14	スリーA	21回	96名
15	くるみの会	88回	240名
16	ハッピーマロン	7回	36名
瑞穂支所活動計（ロ）		1,020回	2,040名

③和知地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間出勤人数
1	要約筆記サークル「くさぶえ」	72回	202名
2	朗読ボランティア「こだま会」	15回	90名
3	ガイドヘルパー「みちづれ」	77回	40名
4	十三の会	72回	144名
5	七八会	19回	58名
6	みんなで手をつなごう会	13回	81名
7	大迫グループ	32回	65名
8	虹の会	264回	334名
9	お誕生カードづくりボランティア「天花」	13回	85名
10	手芸ボランティア「モチーフ」	13回	52名
11	舞踊ボランティア「つぐみ会」	0回	0名
12	ふれあい給食サービス「調理ボランティア」	20回	121名
13	ふれあい給食サービス「配食ボランティア」	339回	799名
14	彩いろグループ	5回	45名

15	才原グループ「ふきのとう」	5回	15名
16	大正琴同好会	8回	56名
17	くるみの会和知支部	7回	125名
和知支所活動計（ハ）		974回	2,312名
総合計（イ+ロ+ハ）		2,762回	9,853名

（2）個人ボランティア活動報告

活 動 内 容	活動回数	活動者数
京丹波町身体障害者福祉会体育大会のボランティア支援	1回	9名
瑞穂山彦苑夏祭りボランティア	1回	8名
全京都車イス駅伝競走大会ボランティア	1回	2名
ギター演奏・歌	1回	2名
腹話術・マジック	1回	1名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵原画書き	20回	2名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵名前書き	20回	20名
京たんば花火大会翌日清掃	1回	8名
合 計	46回	52名

【成果・課題】

- ・つぐみ会は活動休止中。
- ・活動場所への移動が課題。

2 ボランティア研修・養成講座・交流会の開催

研修・講座名	開催日・場所	対 象	内 容
傾聴ボランティア 「うさぎの耳」（京丹波町）と傾聴ボランティア「なごみ」（亀岡市）との意見交流会	5月18日（月） 14:00～15:30 ガレリア亀岡会議室	傾聴ボランティア「うさぎの耳」 傾聴ボランティア「なごみ」 16名参加	・両傾聴ボランティア団体からの活動報告 ・意見交流会
衛生管理研修会	6月8日（月） 10:00～11:30 瑞穂保健福祉センターほほえみ2階集団指導室・健康学習室	給食サービスボランティア・くるみの会会員・サロンボランティア・ヘルパー他 55名参加	「食品衛生と食中毒予防について」 ・衛生管理について ・食中毒の予防について <講師> 京丹波町保険福祉課健康推進係 栄養士 上林 小百合 氏
朗読ボランティア 「ともしび」とリスナーとの交流会	6月30日（火） 11:00～15:00 丹波中央公民館3階大ホール	朗読ボランティア「ともしび」・リスナー 24名参加	・和太鼓舞夢による和太鼓演奏 ・昼食交流会 ・ともしび出し物 ・リスナーより朗読 ・体操 ・合唱

<p>傾聴講座</p>	<p>平成 28 年 2 月 22 日 (月) 29 日 (月) 13:30~15:30 22 日：和知ふれ あいセンター 29 日：瑞穂保健 福祉センター</p>	<p>傾聴ボランティア・支援員・サロ ンボランティア 他 22 日：29 名参加 29 日：26 名参加</p>	<p>「傾聴について」 ・話を聴く、話すことについての技法 ・実習 ・町内サークル活動発表 ＜講師＞ 京都国際社会福祉センター 臨床心理士 小松 真佐子 氏</p>
<p>なごみ会</p>	<p>平成 28 年 3 月 1 日 (火) 六甲オルゴール ミュージアム</p>	<p>視覚和知会・ガイドヘルパー「みち ずれ」・朗読ボラ ンティア「こだま 会」 18 名参加</p>	<p>・六甲オルゴールミュージアムで音楽鑑賞 ・昼食交流会</p>
<p>京丹波町演芸ボラン ティア団体と綾部ボ ランティアグループ (演芸・文化部) と の交流会</p>	<p>平成 28 年 3 月 4 日 (金) 瑞穂保健福祉セ ンター</p>	<p>京丹波町演芸ボ ランティア 27 名参加</p>	<p>・グループごとによる意見交流会</p>



▲傾聴講座 (2/22) わちふれあいセンターにて

【厚生福祉事業】

1 心配ごと相談事業

心配ごと相談	開催日	来談者	無料法律相談	開催日	来談者
1 丹波支所	5月11日	0件	1 瑞穂支所	4月6日	5件
2 瑞穂支所	5月25日	0件	2 和知支所	6月8日	4件
3 和知支所	6月8日	3件	3 丹波支所	8月3日	2件
4 瑞穂支所	7月6日	0件	4 瑞穂支所	8月31日	1件
5 丹波支所	8月3日	0件	5 瑞穂支所	10月5日	4件
6 和知支所	9月7日	2件	6 丹波支所	11月2日	2件
7 丹波支所	11月2日	0件	7 和知支所	12月7日	0件
8 瑞穂支所	11月24日	0件	8 丹波支所	2月8日	2件
9 和知支所	12月7日	0件	9 和知支所	3月7日	4件
10 瑞穂支所	1月12日	2件			
11 丹波支所	2月8日	0件			
12 和知支所	3月7日	2件			
合計		9件	合計		24件
26年度合計		12件	26年度合計		24件
比較		75.0%	比較		100.0%

【成果・課題】

- ・町内3カ所で相談所を開設しているため、居住地域以外の相談所へ来所される傾向がある。
- ・心配ごと相談に来られた方の課題を整理し、必要であれば無料法律相談（弁護士）に繋ぐケースもあった。
- ・外国籍の方やインターネットでの悪徳商法についての相談など、今までにない相談が増えてきている。

2 福祉資金貸付事業

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
生活福祉資金貸付	1	0	0	1
くらしの資金貸付	1	2	0	3

3 日赤社員増強運動

項目	丹波	瑞穂	和知	合計
社資協力募金額	747,226円	560,677円	490,490円	1,798,393円

4 共同募金実績

(1) 赤い羽根共同募金運動 ⇒ 10月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項 目	内 容	合 計	
募 金 額	平成 27 年度募金額	3, 127, 608 円	
配 分 総 額	平成 26 年度募金の約 8 割	2, 383, 887 円	
配 分 内 訳	①啓発活動費	広報ほほえみ発行	501, 605 円
	②高齢者福祉事業費	町老連助成・一人ぐらし高齢者交流等	296, 090 円
	③障害児・者福祉活動費	町身体障害者福祉会助成等	230, 000 円
	④母子・父子福祉活動費	町母子寡婦福祉会助成等	140, 000 円
	⑤児童青少年福祉活動	町内小中学校福祉活動助成	238, 534 円
	⑥地域福祉活動	じぶんの町を良くする助成・福祉まつり	811, 623 円
	⑦防災・災害対策事業	災害時用備品の購入	166, 035 円
合 計		2, 383, 887 円	

(2) 歳末たすけあい募金 ⇒ 12月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項 目	内 容	合 計	
募 金 額	平成 27 年度に寄せられた募金額	1, 988, 103 円	
共同募金会事務費	募金資材、広報、委員会等費用	149, 072 円	
配 分 総 額	平成 27 年度に寄せられた募金の約 9 割	1, 839, 031 円	
配 分 内 訳	①在宅援助活動費	見舞・激励金の配布	1, 275, 000 円
	②在宅サービス事業費	介護用防水シート配布	464, 031 円
	③共同作業所支援	共同作業所交流会支援	100, 000 円
	合 計		1, 839, 031 円

【成果・課題】

募金活動においては「募金機能付き自動販売機」を初めて町内3カ所に設置したことや、町内事業所の協力による啓発物品の販売や寄付つき商品の販売による募金があり、赤い羽根共同募金については昨年を上回る募金額となった。

また、配分事業では「じぶんの町を良くする助成事業」を平成27年度から実施。住民が主体となって取り組んでおられる地域福祉活動への助成を行い、地域活性化や障害者福祉などに活用された。来年度も募金方法や配分事業の内容を検討しながら募金が地域の課題解決にどのように活用されているのか、より分かりやすく広報していきたい。



○募金機能付き自動販売機の設置場所

丹波自然運動公園こども広場（曾根）、総合設計正田建築事務所前（篠原）、道の駅「和」（坂原）

【災害支援活動と災害ボランティアセンター設置に向けた活動展開】

1 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害支援活動

京都府災害ボランティアセンターが所有している、災害支援用資機材を茨城県へ貸出するために、3名の職員が綾部市の倉庫でトラックへの積み込み作業を支援した。また、返却された際にも職員1名が支援を行った。

2 研修・講座

開催日	会議名	場所	出席人数
6/6(土)	京都府災害ボランティアセンター全体研修	京都産業大学むすびわざ館	2名
6/30(火)	京丹波町消防防災フェスティバル説明会	グリーンランドみずほ マスターズハウス	1名
7/9(木)	第1回船井青年会議所・南丹市社協・京丹波町社協 災害対策連絡会	健康管理センター 会議室	2名
7/22(水)	福祉避難サポートリーダー養成研修	南丹保健所	2名
7/26(日)	京丹波町消防防災フェスティバル	グリーンランドみずほ	4名
7/27(月)	市町村社協災害ボランティアセンター担当者会議	ハートピア京都	2名
8/4(火)	第2回船井青年会議所・南丹市社協・京丹波町社協 災害対策連絡会	南丹市	4名
8/21(金)	第3回船井青年会議所・南丹市社協・京丹波町社協災害対 策連絡会南丹市・京丹波町社協事前打合せ	南丹市社協	1名
9/4(金)	第3回船井青年会議所・南丹市社協・京丹波町社協 災害対策連絡会	健康管理センター	3名
9/12(土)	きらりセミナーⅡ～多様な視点で災害対応を考えよう～	ふれあいセンター	1名
10/4(日)	南丹市総合防災訓練における災害ボラセン開設訓練	日吉総合運動広場	8名
10/18(日)	京都府災害ボランティアセンター図上訓練	府立山城総合運動公園	2名
12/16(水)	京都府災害ボランティアセンター部門別研修会～災 害VCの情報発信力～	京都産業大学むすびわざ館	2名
12/17(木)	災害復興支援NPOリレーショーンズ南丹地域説明会	南丹市国際交流会館	3名
1/25(月)～26(火)	災害視聴覚障がい者支援者・支援リーダー養成講座	ビッグ・アイ国際障害者 交流センター(大阪)	1名
3/13(日)	京丹波町災害ボランティアセンター町民講座	山村開発センター	32名
3/14(月)	災害ボランティアセンターの運営と行政との連携	京都ガーデンパレス	3名

【成果・課題】

京丹波町災害ボランティアセンターは、平成26年度に締結した「災害時におけるボランティア活動等における協定書」に基づき、災害発生時において、京丹波町の要請により災害ボランティアセンターの設置・運営を行うことが主要な取組みである。（協定締結型災害ボランティアセンター）

平時においては、災害時に備え資機材の整備・管理や研修・訓練の取組みを行うこととなっている。

平成27年度は資機材の整備として、京都府共同募金会の助成金を活用し災害ボランティアセンター用のテント1張りと角スコップ、剣スコップ、鋤簾を各30本、一輪車（ノーパンクタイヤ）10台を購入し、ビジョンダンマークに格納した。また災害ボランティアセンター運営に必要な文房具等の資機材についても購入し、中央公民館に格納した。

研修・訓練については、府災ボラが主催する研修について、災害ボランティアセンター担当職員が出席した。また10/4に南丹市総合防災訓練における災害ボラセン開設訓練について、社協職員へ参加を呼びかけ、職域を超えて8名の職員が参加した。災害ボランティアセンター運営支援ボランティアについては、町民を対象とした『京丹波町災害ボランティアセンター町民講座』に個別に案内し、研修の場を兼ねて開催した。

災害ボランティアセンターの運営については、関係機関との連携や町民への理解が必要になる。6月30日に京丹波町が開催した『京丹波町消防防災フェスティバル説明会』に関係機関として参画し資機材の展示を行ったり、福祉まつりにおいて災害ボランティアセンターのコーナーを設置するなど非常時に備えた関係作りや活動のPRを行った。



▲京丹波町消防防災フェスティバルにて



▲福祉まつりでの災害ボラセンコーナー



▲京丹波町災害ボランティアセンター町民講座（3/13）山村開発センターみずほにて



【障害者共同作業所運営事業】

基本理念

地域社会の中で生き、「働きたい」「自立した生活を送りたい」などと誰もが思っている当たり前の願いを叶えるために働く喜び、やりがいを感じ、また楽しみながらできる活動を通して、その社会の中で意欲や自信となる力をつけることを目指しています。

作業以外では利用者の生活全般への気配りや相談及び助言、利用者の人権を尊重・擁護する姿勢で日々の業務に取り組んでいます。

1 通所実績（利用定員、利用状況）

① 生活介護（定員 18 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	15	14	14	14	14	14
延べ利用者数	262	240	294	270	268	261
開所日数	20	18	22	21	21	19
	10月	11月	12月	H28.1月	2月	3月
登録者数	14	14	14	14	14	13
延べ利用者数	279	252	253	245	257	266
開所日数	21	19	19	19	20	22

年間延べ利用者数	3,147人	年間開所日数	219日	1日平均利用者数	14.3人
----------	---------------	--------	------	----------	--------------

② 就労継続支援B型（定員 42 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	31	30	31	31	30	29
延べ利用者数	503	434	567	533	490	472
開所日数	20	18	22	21	21	19
	10月	11月	12月	H28.1月	2月	3月
登録者数	30	30	31	30	30	31
延べ利用者数	512	503	493	462	509	563
開所日数	21	19	19	19	20	22

年間延べ利用者数	6,041人	年間開所日数	219日	1日平均利用者数	27.5人
----------	---------------	--------	------	----------	--------------

③ 総計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	46	44	45	45	44	43
延べ利用者数	765	674	861	803	758	733
開所日数	20	18	22	21	21	19
	10月	11月	12月	H28.1月	2月	3月
登録者数	44	44	45	44	44	44
延べ利用者数	791	755	746	707	766	829
開所日数	21	19	19	19	20	22

年間延べ利用者数	9,188人	年間開所日数	219日	1日平均利用者数	41.9人
----------	---------------	--------	------	----------	--------------

- ※平成27年度入所者
- ・生活介護利用者 1名（和知1名）
 - ・就労継続支援B型利用者 3名（丹波1名・和知2名）
- ※平成27年度退所者
- ・生活介護利用者 2名（施設入所・転居など）
 - ・就労継続支援B型利用者 3名（A型事業所へ就業など）

※平成28年3月31日時点の現員数 46名

- ・生活介護利用者 14名
- ・就労継続支援B型利用者 32名

2 作業種別・生活介護の取組み

(1) 就労支援

① 下請け作業

空調設備コード等加工、香典返しセット箱詰め、造船作業靴カバー用布裁断、細ねぎ調製作業、京かんざし調製作業等行う

② 受託・請負作業

水辺公園・琴滝公園清掃管理（草刈り、トイレ掃除、清掃）、上水道施設草刈り、地域住民・業者からの依頼による草刈り、黒豆作業等行う

③ 一般就労に向けての支援

障害雇用情報提供、企業・A型事業所（雇用型）等実習の斡旋、支援など行う
平成27年度は就労継続支援B型利用者1名が「ハートプラザ」KYOTO 駅ビルで実習を行い
町内スーパーでトライアル雇用にて現在も実施中です

(2) 生産活動

アルミ缶回収、農耕作業（園芸、野菜の苗植え）、自主製品販売（さをり織り製品、縫製品、木工品、手漉きはがきなど）

(3) 生活介護の取組み 「ステップアップルーム」（週1回4限目）

※作業療法の要素を取り入れた活動により、本人の可能性を引き出し、通常の作業（生産活動）や、生活の中での療育となるように実施しています。
生産活動としてはアルミ缶回収・ダンボール回収支援、芳香剤づくり、その他袋詰め作業や販売用袋作りなど行っています。

3 作業訓練環境整備

- (1) 京丹波町共同作業所和知支所作業室の照明器具取り替え
- (2) 京丹波町共同作業所丹波本所本棟作業室の照明器具取り替え

4 専門職による指導

(1) 作業療法士による見立てと指導

利用者一人ひとりの障害特性に応じた、より適切な作業や創作的活動、生産的活動を提供するために、京丹波町子育て支援課作業療法士に個別の見立てや支援の方法について指導を頂いた。

(2) 花ノ木医療福祉センター障害児（者）地域療育等支援事業

施設支援一般指導事業を活用し、相談員が主に精神障害のある利用者について面接指導を頂いた。

(3) 作業所看護師業務

血圧、検温、体重、服薬チェック、健康相談など随時おこなっている。
医療機関や保健師、栄養士などとの連携・情報共有を適宜おこなっている。
手洗い・うがいなど感染症予防や作業室内の保湿など環境整備指導などおこなっている。

5 職員研修・会議（サービスの質の向上、職員の資質向上のため開催）

①定例連絡会議（原則毎月開催、社協事務局長・所長・支所長・係長）

- 利用者の工賃向上計画検討及び給料支給規程の見直しを協議
- 夏季、冬季ボーナスと期末手当の支給について等を協議

②作業所職員会議

- 全体職員会議…情報の共有、連絡事項確認（偶数月に開催）
施設見学や各種受講した研修の伝達講習、社協職員会議への参加
- 業務分担別 担当者会議…請負作業連携の調整、販売や行事などの調整（適宜実施）

6 避難訓練の実施

丹波…10月8日(木)13:45～丹波本所作業倉庫から出火発生を想定して実施
(利用者17名と職員7名)

瑞穂…9月30日(木)13:00～瑞穂支所作業室から火災発生を想定して実施
(利用者10名と職員4名)

和知…9月28日(月)11:35～和知支所給湯室から出火発生を想定して実施
(利用者9名と職員4名)

7 現状・改善・要望

- (1)利用者の高齢化に伴い、草刈り作業などにおいては活動が厳しくなっている。また、就労継続支援B型の利用から生活介護サービスに移行する傾向があり、そのサービス提供の再構築が問われてきている。
- (2)利用者の経済的自立を目指した工賃向上のための下請けや自主製品の開発・販売促進、また給与規程の見直し、具体的な手当の再検討が必要である。
- (3)利用者の障害特性に応じて行う支援は複雑で、専門的な知識と十分な経験を必要とすることから当作業所においても専門性のある職員を育成するために積極的に研修を受け、引き続き福祉専門職としてのプロフェッショナル化を目指す必要がある。
- (4)利用者及び保護者の高齢化等により、作業所の休所日に福祉サービス提供の必要性が高まってきていることから作業面のみならず在宅生活におけるモニタリングの必要性がある。
- (5)それぞれの施設において、老朽化による修理が増加してきている。また、障害の特性に対応する為、各作業の効率化を考えたところ作業室が手狭になり、施設環境の整備も要望していく必要がある。